

平成 25 年 2 月 7 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/7 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力 ^{*1}	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約1.9m ³ /h	18.4	105.9 kPa abs	A系: 0.00 vol%
		給水系:約2.5 m ³ /h			B系: 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.6m ³ /h	31.6	7.47 kPa g	A系: 0.04 vol%
		給水系:約2.0 m ³ /h			B系: - ^{*2} vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.5m ³ /h	31.5	0.26 kPa g	A系: 0.17 vol%
		給水系:約2.0 m ³ /h			B系: 0.16 vol%

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

*2:計器点検に伴いデータ欠測

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (2/7 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.0
2号機	循環冷却システム	運転中	12.3
3号機	循環冷却システム	運転中	10.8
4号機	循環冷却システム	運転中	21

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[3号機]・H25/2/6 9:39 使用済燃料プール上部の鉄骨トラス瓦礫を撤去に伴い使用済燃料プール冷却システム一時系を停止(停止時プール水温度:10.5)。その後、当該作業を完了したことから、16:01、使用済燃料プールの冷却を再開(冷却再開時プール水温度:10.6)。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	2/6 13:42 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	1/24 11:03 ~ 移送実施中

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系^{*1}の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。なお、当該作業については、2月上旬まで、適宜、実施する予定。

*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/7 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

< 5 . その他 >

- ・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- ・H25/2/6 ~ 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備について、現地でのコンクリートモジュール組立て作業を開始。
H25/2/6 の作業については、2/6 の「福島第一原子力発電所の状況」で、“悪天候により中止”と記載していましたが、正しくは2/6 から開始しておりましたのでお詫びして訂正させていただきます。
- ・H25/2/6 13:00 頃、3号機使用済燃料プール上部に残存する鉄骨トラス瓦礫の撤去作業を行っていたところ、油圧フォーク2台により吊り上げていた鉄骨トラス瓦礫が二つに破断した。破断した二つのトラス瓦礫は、油圧フォークで把持した状態であったが、破断した片側のトラス瓦礫が使用済燃料プール内に留まった。同日14:06 までに、二つのトラス瓦礫を油圧フォークで3号機原子炉建屋南側ヤードに移動した。なお、使用済燃料プールの水位、及びモニタリングポスト指示値の有意な変化は確認されていない。今後準備が出来次第、水中カメラにて使用済燃料プール内の状態確認を行う予定。
2/6,2/7 の福島第一原子力発電所の状況について、「有為」という字を記載していましたが、正しくは「有意」となりますので、お詫びして訂正させていただきます。
- ・H25/2/6 10:12(日本時間)、南太平洋のソロモン諸島沖でマグニチュード 8.0 の地震が発生。同日 14:41、気象庁が北海道から九州にかけての太平洋側と沖縄に高いところで 0.5m の津波が予想される旨の津波注意報を発表。これを受け、同日 15:49 に、護岸付近にいる作業員を安全な場所(高台)に避難するよう周知を実施。同日 21:40、異常が無いことを確認。(参考:福島第二原子力発電所においては、19:53 に 20cm(プラス 13cm、マイナス7cm)、21:15 に 18cm(プラス 17cm、マイナス1cm)の津波を確認)
- ・H25/2/7 14:12 共用プール冷却浄化系において、所内共通 D / G (A)メタクラ母線停止作業に伴い、共用プールの冷却を停止。
15:18 当該作業が終了したため、共用プール冷却浄化系を起動。共用プール水温度は冷却停止時の 18.3 から 18.4 まで上昇したが、運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題ない。
- ・H25/2/8 1 ~ 4号機取水路前面エリア北側のシルトフェンスの閉鎖を予定。
(2号機取水口に2重に設置してあるシルトフェンスのうち、内側の1本についてシルトフェンスを固定している端部(片方)のワイヤーが損傷していることを確認したことから、損傷を確認した2号機を含め、1, 2, 4号機取水口シルトフェンスのワイヤーについて補修作業を実施予定(3号機は、昨年 11 月シルトフェンス交換時に補修済)。本作業は1日での完了を予定しており、作業船をシルトフェンス内に入れ作業実施後、作業船を外に移動するため、再度シルトフェンスを閉鎖する予定。)

以上